

<第94回調査>

2017年3月27日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2017年3月14日(火)13:00～2017年3月21日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は890件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

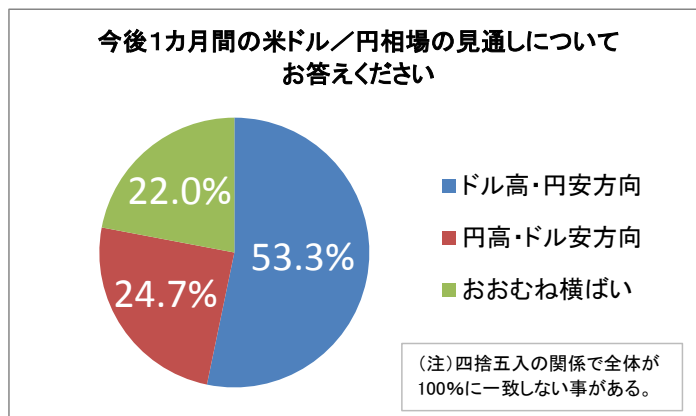
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第94回調査結果略報：個人投資家は米ドル強気予想を維持】

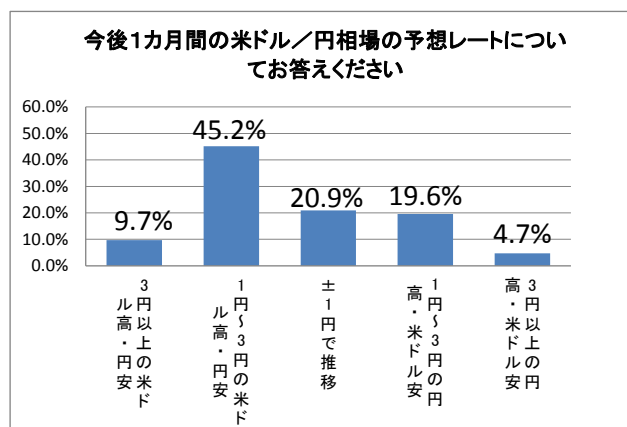
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が53.3%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は24.7%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△28.6%ポイントとなり、前回の△17.5%からやや上昇して米ドル強気予想を維持した。調査期間中の米ドル/円相場は115円台から112円台へと値幅は小さいながらもほぼ右肩下がりで下落した。しかし、個人投資家の見通しは弱気化する事なく、むしろ強気度合いがやや拡大した格好だ。米連邦公開市場委員会(FOMC)の利上げに対して市場は米ドル売りで反応したが、個人投資家はそうした米ドル安を押し目買いのチャンスと捉えていたのかもしれない。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が45.2%と最も多く、「±1円で推移(20.9%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(19.6%)」「3円以上の米ドル高・円安(9.7%)」、「3円以上の円高・米ドル安(4.7%)」、と続いた。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安側に傾いており、問1の結果と整合的だ。もっとも、「1円～3円の米ドル高・円安」に半数近くの回答が集まった一方、「3円以上の米ドル高・円安」は1割以下にとどまっており、米ドル高・円安が大幅に進むとの見方は少ない。個人投資家は、米ドル/円相場の先行きを「緩やかな上昇」と予想しているようだ。

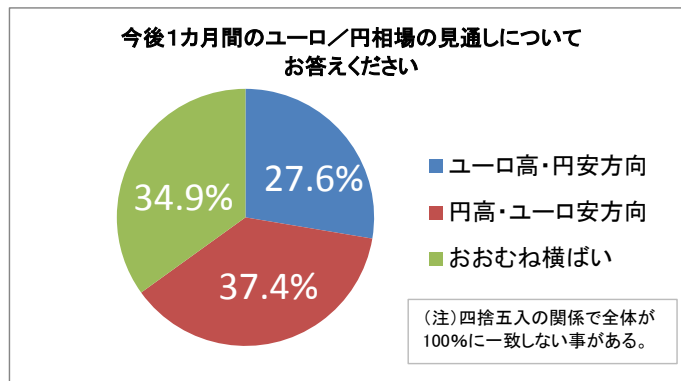


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

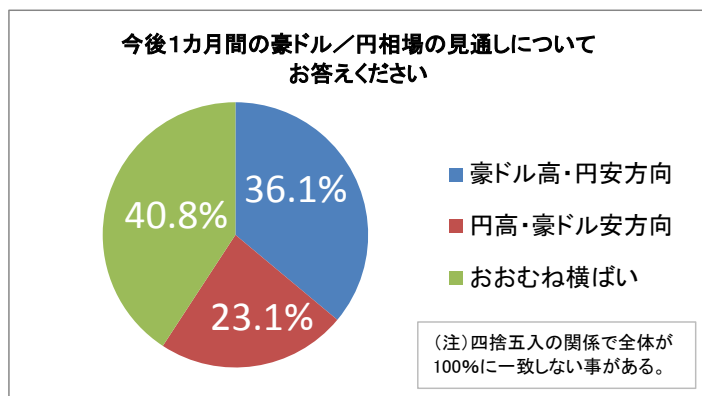
「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が27.6%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が37.4%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼9.8%ポイントとなり、マイナス幅はやや縮小したものの3カ月連続のユーロ弱気予想となった。調査期間中のユーロ/円相場は、120円台半ばから122円台半ばの狭いレンジで弱持合いの展開となった。直前には欧州中銀(ECB)が、デフレ懸念の後退とともに追加緩和の必要性が薄れたとの見解を示したが、相場の反応は一時的であった。同時に、個人投資家の見通しもユーロ強気に傾く事はなかったようだ。過去のユーロ円予想DIの推移はP6-7に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が36.1%であったのに対し、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合は23.1%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△13.0%ポイントとなり、プラス幅はやや縮小したが2カ月連続で豪ドル強気予想となった。調査期間中の豪ドル/円相場は、87.00円を挟んだ小幅なレンジでもみ合った。原油などの資源価格の反落が重しとなった一方、米ドルの弱含みが豪ドルを押し上げた面もあり、豪ドル/円相場には方向感が出なかった。そうした中で、個人投資家の見通しも前月から大きく変化する事はなかったようだ。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP6-7に掲載。



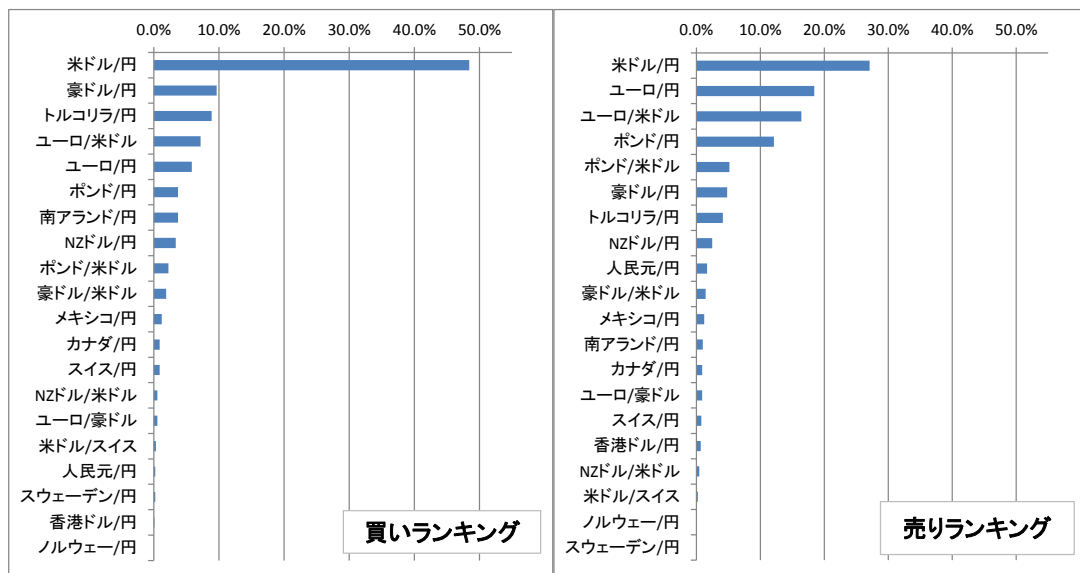
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が48.4%の回答割合を集めて1位であった。以下、豪ドル/円(9.7%)、トルコリラ/円(8.9%)、ユーロ/ドル(7.2%)、ユーロ/円(5.8%)の順に続いた。今回も2位以下を寄せ付けずに米ドル/円の圧勝に終わり、連続首位記録を54カ月(4年6カ月)まで伸ばした。①取引情報が豊富で取得が容易である、②荒すぎず静かすぎず程よい値動きが見込める、③利上げにより、今や高金利通貨の部類に入る、などが米ドル/円が選好される理由だろう。

一方、「売り」で注目の通貨ペアでも米ドル/円(27.1%)が1位となり、以下、ユーロ/円(18.4%)、ユーロ/ドル(16.4%)、ポンド/円(12.1%)、ポンド/ドル(5.2%)と続いた。米ドル/円はこちらでも5カ月連続で首位をキープしており、個人投資家の興味関心が米ドル/円に集中する傾向は変わらなかった。なお、社団法人金融先物取引業協会によると、2月の店頭FX市場(53社合計)における総売買高は約380兆4820億円であったが、そのうち米ドル/円が318兆1644億円を占め、1月に続き売買シェアが80%を超えた。ただ、「売り」で注目のランキングにおいて、ポンド/円とポンド/ドルがいずれも回答割合を上昇させて順位を上げるなど、見逃せない小さな変化が水面下で起きている。英政府と欧州連合(EU)の正式交渉開始を控えて、個人投資家の関心が「ブレグジット」に戻り始めた可能性があり、今後の動向を見守りたい。

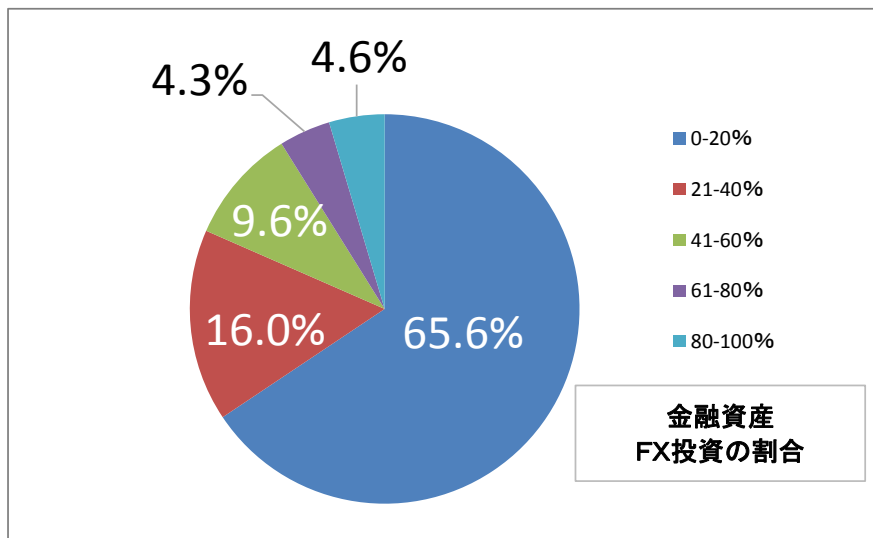


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: FX投資は、お持ちの金融資産の何%に相当しますか？
(例: 500万円の金融資産のうち、FX投資が100万円ならば20%)

今回の特別質問として、「FX投資は、お持ちの金融資産の何%に相当しますか？」と尋ねたところ、「0-20%」との回答が65.6%に上り最も多かった。次いで「21-40% (16.0%)」、「41-60% (9.6%)」、「80-100% (4.6%)」、「61-80% (4.3%)」という結果になった。また、「金融資産の内訳についてコメント欄に記載ください」としたところ、「0-20%」「21-40%」と答えた向きからは、FXのほか「株式」「預金」を保有しているとの回答が多く、「不動産」や「投資信託」、「日本国債」との回答も散見された。一方で、「金」や「原油」などの回答はほとんど見られなかった。FX取引と株取引の親和性の高さは想像通りの結果であったが、商品取引(コモディティ)を並行して行う投資家が少ない点は、やや意外であった。

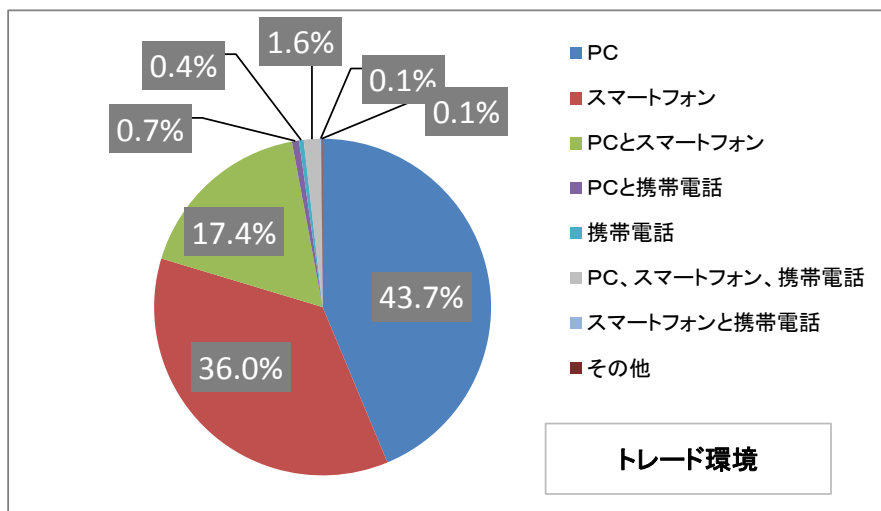


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:FX投資を行う中で、主にどのような投資環境でトレードをしていますか。(ひとつだけ)

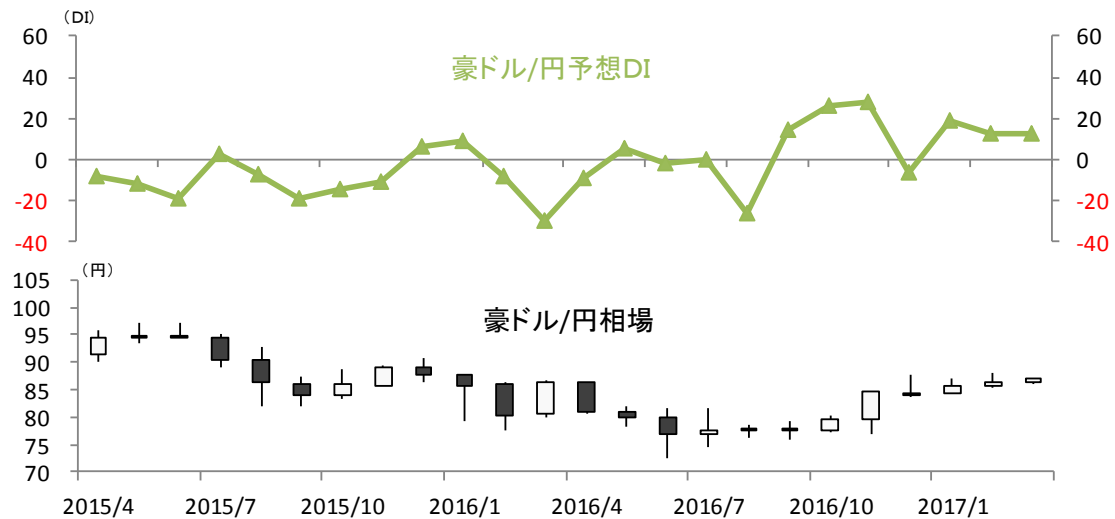
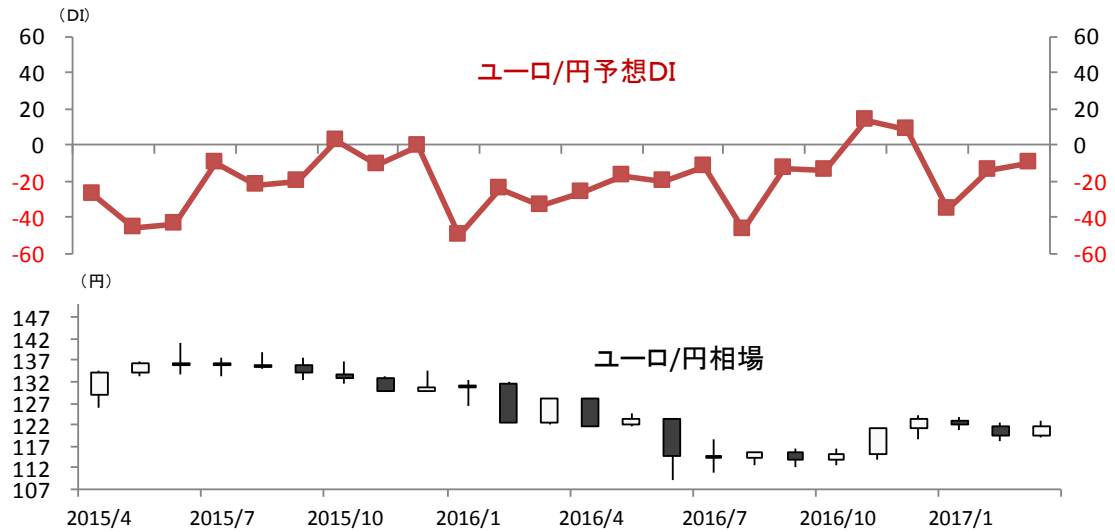
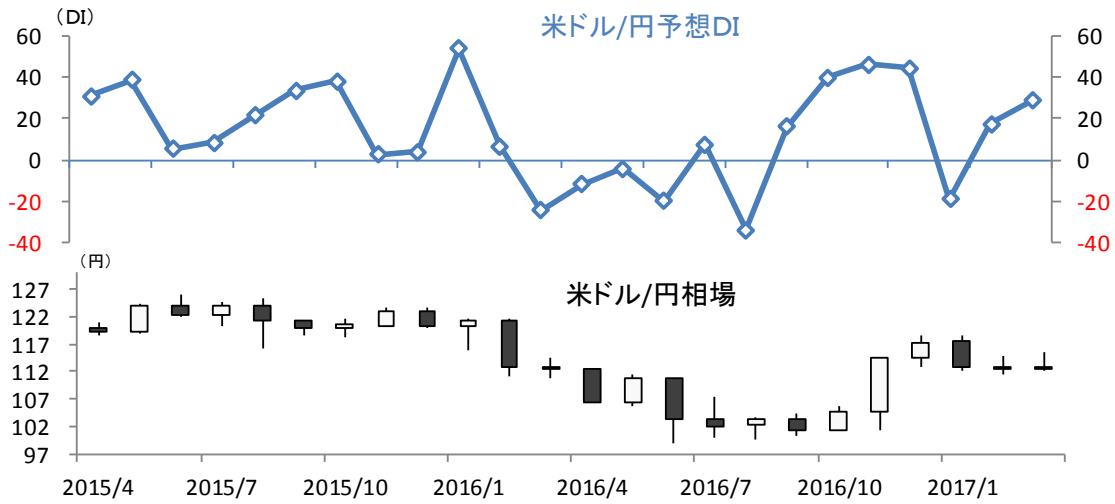
今回の特別質問として、「FX投資を行う中で、主にどのような投資環境でトレードをしていますか。(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「PC」と答えた割合が43.7%と最も多く、次いで「スマートフォン」が36.0%であった。また、「PCとスマートフォン」の両方を使ってトレードすると答えた向きも17.4%に上った。なお、1年前の第82回調査で同じ質問をした際の回答割合は、それぞれ49.2%、27.6%、19.8%であり、「PC」と「スマートフォン」の差は、昨年の21.6%ポイントから7.7%ポイントへと一気に縮小した。以前は、インターネットへの繋がりにくさや、チャート画面の見にくさなどから、「スマートフォン」での取引は敬遠されがちな面もあったが、最近ではそうした点の改善が進み、外出先からでもストレスなくFX取引が可能になった影響が出たものと見られる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第94回目となりました。調査開始から7年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円			
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI	
2015年	4月	31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5	
	5月	29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1	
	6月	43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0	
	7月	49.1	15.5	33.6	23.6	43.7	-20.1	22.8	41.7	-18.9	
	8月	51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4	
	9月	37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8	
	10月	30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6	
	11月	67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8	
	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9	
	2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
		2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
		3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
4月		30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5	
5月		40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4	
6月		26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7	
7月		48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4	
8月		26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3	
9月		34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0	
10月		57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3	
11月		65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8	
12月		64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4	
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6	
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8	
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0	

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com